

(様式第2号)

SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和6年 2月 1日
住 所 所沢市東所沢和田三丁目1番地10
県内企業等の名称 株式会社木下フレンド
代表者役職 氏名 代表取締役 木下 公次

株式会社木下フレンド はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

当社は廃棄物処理業者として、循環型社会の構築を目指し、業務を通じて、すべての方の環境保全に対する意識を具現化し、住みやすい社会と快適な活動基盤を提供することにより、SDGsの達成に貢献していきます。

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	廃棄物の選別技術を向上することで、廃棄物の中間処理事業の高度化を図り、廃棄物のリサイクル率を向上させる。 <(現状値)2022年の数値> 廃棄物のリサイクル率:84% (16,000t/19,000t)	<2030年に向けた指標> 90%(17,100t/19,000t) <取組開始3年後に向けた指標> 87%(16,530t/19,000t)
社会	年間休日を増加し、労働環境の改善に取り組む。 <(現状値)2022年の数値> 年間休日:105日/人	<2030年に向けた指標> 年間休日:110日/人 <取組開始3年後に向けた指標> 年間休日:107日/人
経済	女性の管理職登用や高齢者雇用を積極的に進め、多様な働き方を推進する。 <(現状値)2022年の数値> ①女性の管理職割合:6%(2人/34人) ②高齢者(65歳以上)の雇用比率:24% (66人/276人)	<2030年に向けた指標> ①11%(4人/36人) ②30%(84人/280人) <取組開始3年後に向けた指標> ①8%(3人/35人) ②27%(75人/278人)

【記載留意点】

- ・本様式は県のホームページで公開致しますので、様式を修正したり加工しないで御使用ください。
- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。
- ・SDGs達成に向けた重点的な取組の項目には、現時点での数値を御記入ください。